

山田府知事の不出馬表明について

4期16年の功績を評価し、経済界として知事選への出馬を要請していただけに、勇退を決断されたことは極めて残念だ。

多選への批判に配慮したというよりも、府域の振興や道路・舞鶴港などの交通インフラの整備、学研都市の企業誘致など産業基盤の強化といった社会基盤づくりに一定の道筋をつけることができたと潔く判断されたのだろう。

山田知事には、これまでオール京都による連携の中心となって、「世界交流首都・京都」を目指す「京都ビジョン2040」の策定や、再来年春の完成を目指す京都経済センター（仮称）の整備、文化庁の移転誘致をはじめ、未来に向けた発展の基盤づくりにリーダーシップを発揮していただいた。

いっぱいのご感謝の気持ちで労をねぎらいたい。

今後、後任の候補者選定が本格化することとなるが、ぜひ山田府政の成果を引き継ぎ、オール京都体制の枠組と連携を強化できる方になっていただきたい。

以上

平成29年12月6日
京都商工会議所
会頭 立石義雄